

# えほんのおへや通信



サンガこども園

2017年6月1日(木)発行 サンガこども園 ☎046-255-0148

そろそろ夏が多くなる季節です。外遊びを多くしたいところですが、熱中症には気をつけたいものです。

**サンガこども園で定期購読しています福音館書店の月刊幼児絵本「こどものとも」6月号の紹介。**

<p><b>こどものとも 0.1.2</b> 10ヶ月～2歳向き</p> <p>「ブップ ブーパー」 笠野裕一 作</p> <p>真っ赤なバスが、子ブタのお客さんをのせて、ブップ ブーパー。「あっ、オートバイだ」。オートバイと一緒にブップ ブーパー。タクシーやトラックにも出会い、一緒にブップ ブーパー走ります。</p> 	<p><b>こどものとも 年少版</b> 2～4歳向き</p> <p>「ギーコ ギーコ」 太田大輔 作・絵</p> <p>ギーコギーコと自転車をこいで、ぞうさんの待つ湖までお出かけ。すると途中で出会ったねこさんやいぬさんたちも、自転車に乗って一緒に湖に向かいます。出迎えてくれたぞうさんは、大きな水上自転車でみんなを乗せてくれました。</p> 
<p><b>こどものとも 年中向き</b> 4～5歳向き</p> <p>「おいしい おやつを くださいな」 大塚たえこ 作 おおの麻里 絵</p> <p>あひるが美味しいおやつを探しに出かけます。途中でやぎ、ぶた、うしと出会い、動物たちは「ふんわりしてて あまくて まるくて おいしい おやつ」を探しながら街でいろいろなお店に入ります。ところが…。</p> 	<p><b>こどものとも</b> 5～6歳向き</p> <p>「パパとドライブ」 山口穂子 文 まるやまあやこ 絵</p> <p>みかちゃんの家は、酒屋さん。みかちゃんは、忙しいお父さんを手伝って、たまに一緒に配達に行きます。初めて行く家、馴染みの家、配達先はいろいろな家があるけれど、みかちゃんはその間、お父さんとの二人だけの時間を楽しみます。</p> 
<p><b>ちいさなかがくのとも</b> 3～4～5歳向き</p> <p>「しずく」 越智典子 文 野口満一月 絵</p> <p>雨があがった。おもてはしずくでいっぱい。大きな葉っぱに大きなしずく、小さな葉っぱに小さなしずく。葉っぱの縁にずらりとならんだまんまるのしずくや、クモの巣を飾るレースのようなしずく。</p> 	<p><b>他にこんな絵本も購入しました。</b></p> <p>「こぐまちゃん いたいいたい」 作：わかやま けん 0歳から</p>  <p><b>こぐま社</b></p> <p>積み木が足に落ちたり、階段から滑り落ちたり、お団子の串がささったり…。こぐまちゃんはさまざまな痛い思いをしながら、「今度はどうすればいいのかな？」と考えます。失敗を通して身を守る工夫が生まれます</p>  <p>シンプルな形、明るく印象的な色、幼児の生活の中からテーマをとった親しみやすいストーリーです。 世代をこえて圧倒的支持を受けるロングセラー絵本です。</p> <p>※年齢は目安です。</p>

## 【雑感】

子どもにせがまれて、絵本を読んであげる。絵本の読み聞かせですが、これは親の大事な仕事の1つです。

忙しい毎日の中で、何度も同じ絵本を読み聞かせするのは意外と大変です。

しかし、絵本の読み聞かせは是非続けてください。実は子どもにとって、非常に大事な効果があります。言葉をおぼえる。感情を豊かになる。それに「子どもと同じ世界を共有できる」のです。

絵本とは、子どもと一緒に様々な価値観を共有することができるコミュニケーションの道具なのです。

